


令和元年度 ベストプラクティス企業への労働局長の職場訪問 (令和元年11月20日 訪問)

～ 時間外労働削減、年次有給休暇取得促進の参考となる取組を紹介します ～

令和元年12月23日
鹿児島労働局 



富士ゼロックス鹿児島株式会社 様

業種 小売業
所在地 鹿児島市下荒田1-1-1
代表者 代表取締役社長 金子 努 氏
社員数 132名 (男性109名・女性23名)
*平成30年 かごしま「働き方改革」推進企業認定

- 多様な働き方
 - 営業活動時間の最大化
 - フリーアドレス
 - フリーデスク
 - フレックス・ワーク制度
 - モバイルワーク
 - テレワーク
 - バックオフィス
 - どこでもオフィス
 - 残業時間の管理
 - いつでもどこでも業務
 - 契約書の電子化
- などを実行し、新しい働き方にチャレンジし、独自の取組による働き方改革を実行しました！ (以下一部の取組をご紹介します)

平成25年 働き方改革スタート (平均年齢44.4歳)

- ①営業社員にモバイルツールで日報や見積書の作成・送付の実行
- ②RPA (*Robotic Process Automation:ホワイトカラー業務の自動化) を活用した業務処理などにより、労働時間短縮を実現！

1 生産性の向上分は社員処遇改善へ

(1) 残業時間を減らしました

月平均一人当たりの残業時間は、平成25年度には19.9時間ありましたが、平成30年度には16.1時間、約19%減少。

(2) 年次有給休暇の取得促進

社員一人当たりの年休について、年間取得日数が平成28年度4.8日でしたが、平成30年度には7.3日、52%向上。

3 主な労働条件 (令和元年度)

勤務時間：1日7時間45分
週休制度：完全週休2日制
その他の休日：祝祭日、年末年始、夏季休暇、フレックスホリデーがあり、週休と合わせて：年129日の休日

4 社員の声

早く帰れるようになりました。年休も取得しやすいです。



金子社長様 (左) が小林局長 (右) を案内

2 生産性を高めるキーワード

(1) 一人当たりの生産性向上

生産性は業績を時間で割ったもの。時間を減らし業績を上げれば生産性は上がる。

(2) 作業と仕事を分ける

作業とは定型業務のようなもので誰がやっても同じ解になるもので、IT (情報技術) で処理できるもの。仕事とは人しかできないもの。作業はRPA (上記*参照) などITで行い、人は仕事に特化する。

(3) 社員同士のコミュニケーションを高め、モチベーションを上げる

集中ゾーンとコミュニケーションゾーンを使い分け、時には集中して、時にはコミュニケーションを図り、業務効率のアップ

フリーアドレスチャレンジデー (写真) で、近くなる人と人との距離

5 社長メッセージ

増え続ける仕事量をどうやって減らすか、一つは「作業」、もう一つは「隙間時間」を無くすこと。ルールに則って行う定型作業をITに任せ、人を仕事に特化させることによって生産性を上げる。外出先でも仕事ができる環境を作り、移動時間をなくすこと。

これにより、労働時間の削減を促進して社員の処遇改善に努めます。

